

令和4年度第1回区民対話会（蘇我中学校地区コミュニティづくり懇談会）議事要旨

日 時 令和4年7月30日（土）午前10時00分～午前11時30分

場 所 千葉市南部青少年センター（千葉市中央区白旗1丁目3番16号） 1階 ホール

参加者

〔蘇我中学校地区〕蘇我中学校地区コミュニティづくり懇談会の構成員等 53名

〔事務局〕松浦中央区長

地域づくり支援室：藤牧室長、平岡主査、石塚主任主事

1 開 会

2 蘇我中学校地区コミュニティづくり懇談会 武井会長 挨拶

3 講話及び質疑応答

（1）講話（松浦中央区長）

- ・千葉市基本計画
- ・2022千葉市の主なプロジェクト
- ・町内自治会加入促進等について

（2）質疑応答

南町共栄会

2年間中止となっていて今年度から再開した敬老会について、新型コロナウイルス感染症の感染者数が未曾有の大流行として増加している為、実施しても良いのか自治会として苦慮している。高齢福祉課に質問したところ、実施を推進した方が良いというような話しぶりの回答を得たが、このような状況下で実施するよりも令和2年度と同様に別の形の補助をいただいて高齢者に対応する方が良いのではないかというような意見もある。別の形の補助にすることは今回しないという事だが、これだけコロナが感染している場合は中止してそのお金を別の形で使えるように検討していただきたい。

区 長

地域活動・社会経済活動を元に戻していこう、特に、フレイル予防のためにもお年寄りに外に出ていただくという趣旨で、5月に高齢福祉課から、今年は是非地域で敬老会を開催してくださいというご案内を差し上げた。危機管理ができてないと言われてしまうかもしれないが、区役所としてもこの時期にここまで感染爆発というような状況になるとは予想できなかった。現在の感染状況を鑑みると、地域の役員の皆様方のご苦勞・ご心配はいかばかりかと思う。しかし、大変申し訳ないのだが、役所には予算の枠組みがあり、今日までやっていたことを明日から急に変えるということが非常に難しい部分がある。皆様が本当にご心配されているという声は高齢福祉課に伝えさせていただく。

若草子ども会

町内自治会に新しい方が加入しないために加入者数は増えず、加入率自体は下がっていくという事はよくわかったのだが、町内自治会のことを知らない人はほとんどいないと思う。それなのに加入しないという事は、加入したくない理由とかがあるはずで、その方たちに加入してもらうために何か必要だと

思うが、加入したくない理由として何かお考えがあれば伺いたい。

また、オオガハスを見に行ったら千葉公園内にお土産グッズがほとんどなかった。遠くから来た方のために絵葉書やシールなどお土産が購入できる場所の千葉公園内への設置を検討していただきたい。

区長 町内会に加入したくない理由として、加入しているメリットがわからないという方が多い。私共としては、防犯街灯の電気代の負担やごみステーションの維持管理など町内自治会の役割を伝えているが、アパートやマンション等にお住まいの方はそれらを利用しない為メリットを感じられない、という声をよく聞く。入りたくないという方には、入っているメリットをお伝えしていただかなければならない。災害が起こった時に顔の見える関係でお互いに助け合えるという共助の部分で、いざという時入っていないと困りますよ、というお話しをしていけると良いなと思っている。例えば避難所に避難するとか、災害用の物品を配るといった場面で、町内会に入っていない方にどのように対応していくのか、これからは防災の視点というものもお伝えしていきたい。

次に、オオガハスについてだが、先月の「大賀ハスマつり」ではテントではなちゃんグッズを販売していた。イベント等がない通常時でも買えるよう公園を管理している部署に伝えたい。

大巖寺町内会 転入した方には役所の方でパンフレットをお配りして加入促進をしているという事だが、今現在加入されている方たちにメリットをお伝えしているところを目にしたことがない。大巖寺町内会内で割と高齢の方で、町内会に入っているメリットよりも役員をやるのが負担になると言って、今まで入っていたが抜きたいという方がいらっしゃる。具体的に、今加入されている方たちにどういった形でメリットをお伝えしているのか。町内会としては入っているメリット等を回覧で回したりだとか、近所の方で役員をやっている方にお伝えしてもらったりだとかやってもらっているが、役所の方から具体的にそれぞれの方に定期的に「こういったことが役立っているんだよ」ということをお伝えいただいているのか。

区長 加入している方々に町内自治会に加入していることのメリットを個別にお伝えする事は役所としては行っていないが千葉市全体で、未加入の方に入ってもらえないとか、入っている方が退会してしまうとか、そもそも町内会を解散してしまうとか、そういった動きもあるので、例えば今までなかったデジタルの技術を活用したりしながら、そういった方々に直接私共の考えをお伝えできたらと思う。

ご質問は、今入っている方たちが抜きたいという時にどうすれば引き留められるかという趣旨かと思うが、それぞれの町内自治会の活動状況が異なるので、一般論として回答するのは難しい。ライフスタイルが多種多様になり、皆様の暮らし方も昭和時代とは変わってきているので、町内自治会さん自身も、会員の皆様方のご意見も伺いながら、柔軟な対応もできるというところを

含めてお話ししていただけるとありがたい。

宮崎町栄親会

町内に蘇我駅から館山道に行く道である新宮崎道路の建設が行われている。もう20年間になるが、一昨年から「毎年完成する」と言って延び延びになっている。最後の50メートル位が完成せず、そのためにせっかく造った道路に草が生えて使えなくなっている。今年も「今年こそは完成させる」と市の方は言っているが、まだ今まで動きがない。現時点で着手していないと今年いっぱい完成しないと思うのだが、また今年も延びるのではないかと心配をしている。何としても、ここまで来た以上は完成させてもらいたい。市議会議員さん等にやってくださいとお願いしているのだが、是非、区の方からも残りの50メートルを今年完成してもらえようお口添えをしてもらいたい。その道路は通勤と通学道路になっており、大森小学校に通う子ども達のためセーフティウォッチャーとしてそこに立っているが、やはり危ないと思いつながらやっている。そういう面からもお願いしたい。

また、進まない理由がわからない。最初の計画が良くなかったのか。何か問題点があって検討しているというのであればわかるので、その状況報告を地元説明会として行ってほしい。言いつばなしではなく、現状を地元で説明してほしい。

区 長

もうすでに市議会議員さん等にお話されているということなので、事業を担当する建設局もここはもう絶対にやらなくてはいけない場所だという認識はしていると思うが、私からも改めてこのような地元のお声があるということをお伝えさせていただく。

蘇我町内会

国道357号線が6車線化で工事が進められようとしているが、そこにある水路を暗渠とせずという計画になっている。その水路は現状、水路に生息する小魚を求めてシラサギやアオサギが飛んでくるような水辺になっている。その水辺がなくなる。蘇我地区には東電の河口まで生実川が流れている。その生実川のがんセンターの下の方にはりっぱな干潟ができていて、そこにも野鳥が飛んできている。国道357号線の水路がなくなるのはやむを得ないが、水辺を残すという意味からすると、生実川を少しづつ整備して、将来的にはそこに人が集うような整備が欲しい。そのためには今、国道357号線の整備に合わせ、生実川に沿って生実町の方から新しく出来ている特定街路の道路建設を行う際に生実川の整備を進めてほしい。

また、生実川そのものの整備の進め方はこれからのまちづくりの中で大きなポイントになってくると思う。今まで都川の整備だとか花見川の整備だとか、川の周辺のまちづくりというのを千葉市は実施した経験があるので、その景観に合わせるように、生実川についてもこれから水辺をつくっていくというようなことで道路整備に合わせて「中央区の目指すべき区の姿」の中に入れてもらえればと思う。

区 長

これまでは、川に着目し、川を活用していこうと言う動きは本市にはなかった

と思うが、今回の基本計画では川辺、内陸部と海をつなぐ川に着目をして、郊外部と臨海部、人と自然、川辺と緑がつながる軸として、特に都市局等を中心に事業を進めていくこととしている。生実川の活用について手元の資料では確認できないが、このような貴重なご意見を承ったという事は都市局等とも共有をさせていただきたい。

宮崎公民館

講話の中で子ども家庭支援の拠点をつくるという話があったが、それに関連して、家庭支援の拠点のようなものを平日だけではなく土曜や日曜日に開催すれば、そこで若いお母さん方に町内会や自治会への加入をお勧めする機会があるのではないかと。宮崎公民館では、「子育てママのおしゃべりサロン」を開催していたが、平日に小さい赤ちゃんがいるお母さんがあまり来なかったため開催しなくなった。社協の子育てサロンも開催しており、コロナというところもあるとは思いますが、平日の参加者は10組もいない。蘇我中学校区の人口から見ると、かなりの数のお母さんたちは平日に幼稚園や保育園や民間施設にお子さんを預けてお仕事をされているという事 だと思ふ。

また、町内自治会の加入を勧めるような動画があれば良いのかなと思う。よくテレビで民生委員さんのCMをやっているように、テレビで町内自治会の加入が促進するような動画が見れたらもっと身近になると思う。

区 長

まず子育ての関係だが、講話の中で説明した子ども家庭総合支援拠点は、お子様連れのお母様方が集えるという施設ではなく、児童虐待防止の観点から、心配なお子様やご家庭の支援をするため、専任の職員が配置されているところである。まだ小さいお子様連れのお父様・お母様方がお互いに色々なお悩み事などの話ができる場所としては、子育て支援館や子育てリラックス館などの市の施設を利用したり、社協さんの公民館での活動に参加していただければと思っている。子育て支援館は日曜日にも開館しているので、お子様連れでそこまで行くのも難しいかもしれないが、そういった施設を使っていただきたい。

また、町内自治会の加入動画のご提案について、すぐできますというお約束はなかなか難しいが、今、特に若い方へは動画で私共の考え方をお伝えする事が多くなっているので、どうすれば実現できるのかという事を検討していきたい。

花輪町自治会

町内自治会の加入をどの様に促進するかという事について、ある時点まではほとんど苦労せずに全員加入するというのが続いていた。しかし、開発で約70世帯が出来たとき、60世帯位までは順調に入ってもらったが、10世帯近くがなかなか入らないことがあった。その中で、話を聞いたりしてわかったことが2つある。

1つは、かなり前に新聞か何かで町会自治会はかなりいい加減だというキャンペーンを行い、その結果町内自治会にもものすごく不信感を覚えている人がかなりいること。会費を出してもお祭りなんかで飲んでしまうというような発想を持っていて、その方たちに細かく説明をしに行ったが、「隠しているんじゃないか」、「どこかでいい加減なことをしているんじゃないか」という発想

を強く持っており、なかなか信用してもらえなかった。それを感じている中で、宮崎公民館の方の提案はちょうど良い。私たちが話しても不信感からごまかしていると思われてしまっているところがあるが、マスコミの力は強い。町内自治会というのは本当に必要なものだということを、もう少し行政が中に入って、行政として町内自治会のPR動画を作ってPRできたらその辺のところを払拭できるのかなという感じがする。是非もう一歩入ってもらって、町内自治会の必要性についての話をしてもらいたい。

もう1つは、町内自治会とは「助け合いの会」という機能がもっと増えてきているということ。「町内自治会のメリットって何ですか？」という、先ほど話に出たように防犯街灯の電気代やごみステーションの管理くらいしかずっと出てこない。町内自治会の持つ「助け合いの会」としての機能をメリットとしてもう少し強く出していただいたらどうかとを感じる。町内自治会の魅力というか、町内自治会に入っていないと困るんだよというような話を自治会と行政とが一緒になって検討して、そういうものを作り上げていくことが必要だと考えている。

区 長 町内自治会の必要性のPRの中には、助け合いの機能、これから超高齢化でお互いに助け合っていないと地域共生社会の実現が出来ませんよという部分を含めて、行政としてどのようにすれば入っていない方に訴求できるのかというところを考えていきたい。また、そのためにも皆様方から色々なご意見を承りながら、皆様方と共に作っていきたい。

本日は、貴重なご意見をたくさん頂戴した。ありがとうございました。

4 閉 会

資料

- (1) 次第
- (2) 講話資料「蘇我コミュニティづくり懇談会 区長を囲む会 ～令和4年度 第1回 区民対話会～」
- (3) 千葉市中央区地区別データ（蘇我中学校区）